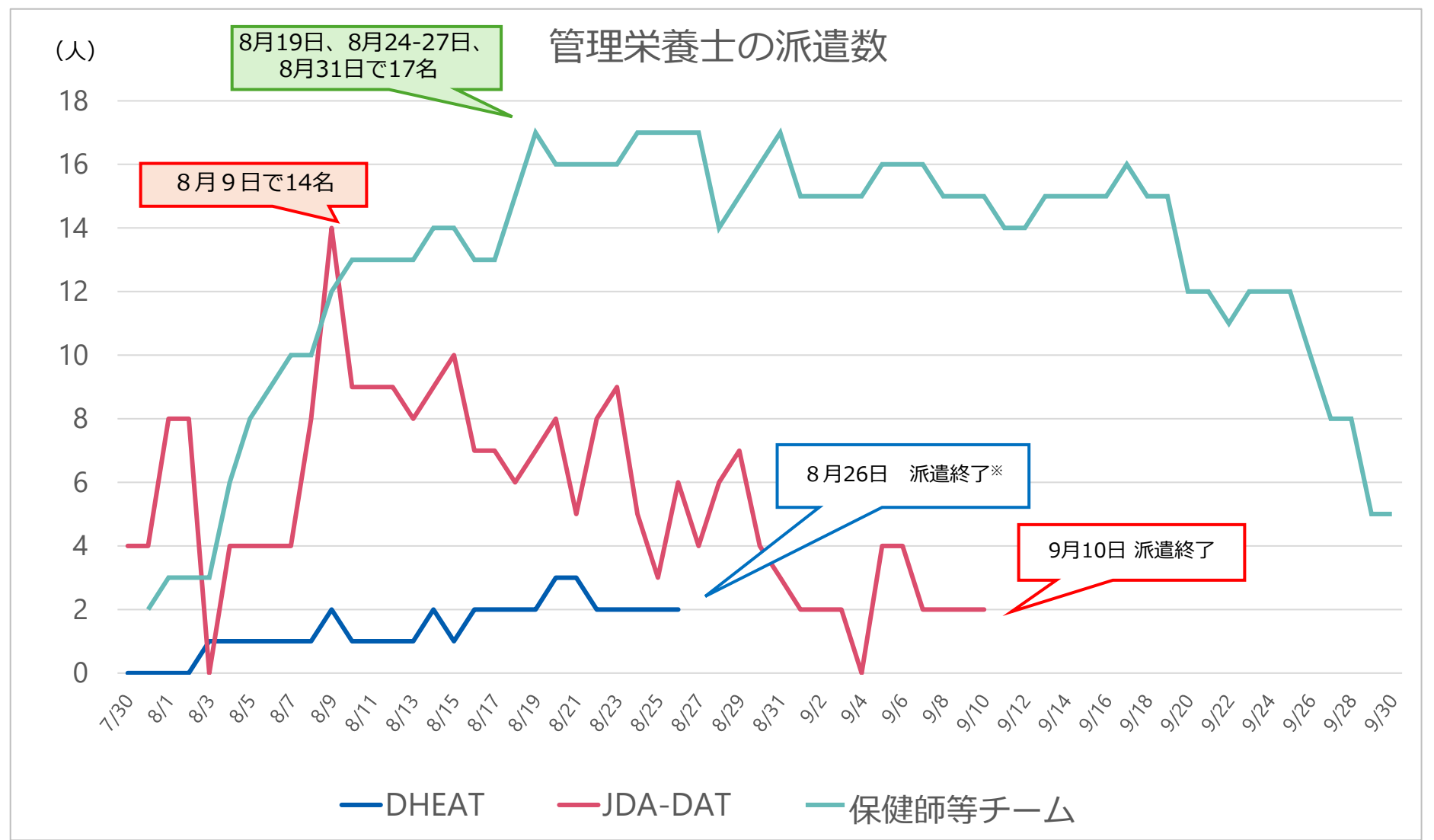


令和 8 年熊本地震における保健師等チーム派遣（報告） ー管理栄養士の活動等についてー

兵庫県
保健医療部 健康増進課
諸岡 歩

熊本地震における管理栄養士の活動状況



※DHEATの管理栄養士の派遣は8月26日終了、DHEATの活動は9月14日終了

熊本地震における管理栄養士等の活動内容

➤ 避難者の栄養・食生活支援

- ・ 栄養に配慮した食事提供の支援（提供されている食事内容のアセスメントを含む）
- ・ その他の支援（避難所の食品衛生に係る助言を含む）

➤ 他の保健医療福祉活動チームとの連携

	発災～2週間程度	発災後3～4週間	発災後 1 カ月以降
体制整備	支援方針の検討（定期ミーティング、JDA-DATとの連携）		中長期的な活動計画立案
集団生活支援 （避難所）	生活環境の確認 （食料、飲料水） 食事提供状況の確認 （救援物資、炊き出し等） 食事の衛生管理強化	食環境整備  （救援物資を活用した栄養バランスの整え方減塩方法等の作り作成） 食事内容のアセスメント	食料入手可能な店舗案内 食事の質の改善に向けた調整（食事内容改善提案書の作成、弁当の内容改善等）
個別支援 （避難所・在宅 仮設住宅）	全戸訪問（高齢者世帯中心） 避難所の要配慮者 （特殊栄養食品の供給 栄養相談）	保健師帯同 	仮設住宅入居者に向けた食生活改善リーフレットの作成・配布

(参考) JDA-DATの支援活動の推移



発災直後の情報収集から、食料及び特殊栄養食品の確保・運用、疾病や摂食嚥下機能等に応じた継続的な栄養支援を経て、平時の地域支援体制への移行まで、一貫した栄養・食生活支援を行う。



7/28-31



8/1-7

8/8-14

8/15-29

01 初動・情報集約

災害対策本部を設置、先遣隊
疾患・乳幼児・アレルギー等の
緊急ニーズを把握

02 支援拠点を構築

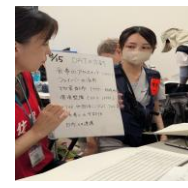
特殊栄養食品ステーション開設
在庫・払出・搬送・記録を一体化

03 個別支援へ移行

慢性疾患、咀嚼・嚥下等に対応
行政・医療・保健・福祉と連携

04 長期化・食事の質

野菜・たんぱく質不足、減塩、
口腔機能と実際の摂取を確認
継続モニタリングの実施



(公社)熊本県栄養士会災害支援チーム (KDA-DAT)
(公社)日本栄養士会 (JDA-DAT) 協力

特殊栄養食品ステーションを開設しました

食事に配慮が必要な方のための「相談・調整窓口」です。
避難所・在宅・施設等でお困りの方へおたずねください。

(公社)熊本県栄養士会 特殊栄養食品ステーション
096-368-3526 平日 9:00~17:00
info@kuma-el-yousikai.com

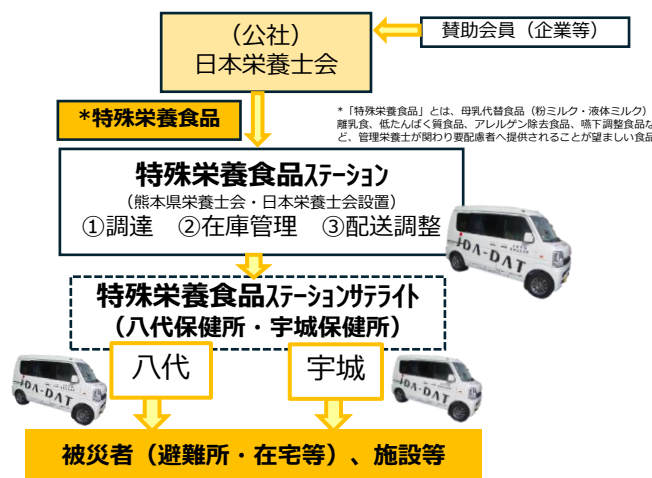
このような食事でお困りの方はご相談ください

アレルギー対応 乳幼児	嚥下・飲み込む 配慮	慢性疾患を お持ちの方
アレルギー除去 食	おかゆ 軟らかいおかず ところみ等の調整	糖尿病 腎臓病 塩分制限 など

必要な特殊栄養食品の相談と調整を行います。

お願い 避難所・在宅・施設等で、食事対応に困っている方がおられましたら、上記窓口へおたずねください。

熊本県栄養士会災害対策本部



8/30-9/6

05 収束・地域移行

支援終了判定
在宅・地域へ引継ぎ

活動の到達点

避難所・施設・在宅を含め支援終了
できる方と、継続
支援が必要な方を
整理し、行政・地
域につなぐ



避難所だけでなく、医療・福祉施設、在宅避難者も含めた「誰一人取り残さない栄養・食生活支援」へ

管理栄養士の活動に係る課題と今後に向けた提案

課題等

- 今回の熊本地震では、避難所での栄養・食生活支援において、専門性を十分に発揮することが困難な場面もみられた。発災時に、被災地・避難所の状況を踏まえ、適切な支援が行えるよう、受援自治体、派遣元自治体の双方が、保健師等チームにおける管理栄養士の活動内容を理解しておくことが必要。
- 同一チームの保健師、管理栄養士が戸別訪問、避難所に分かれて活動するケースもあり、機動力等の観点で、適切な栄養・食生活支援を行うことが困難な場面もみられた。チームとしての活動の中で専門職の強みを生かした支援を行う工夫が必要。



今後に向けた提案

- 保健師等チームにおける管理栄養士の活動内容を踏まえ、受援・派遣の方法について記載してはどうか。
 - ・ 受援自治体及び派遣自治体は、管理栄養士の専門性を踏まえ、保健師等チームの一員としての活動に加え、必要に応じて避難所巡回や食事提供状況の把握・改善等を行えるよう、受援のニーズを踏まえた派遣方法を検討することが望ましい。
- 被災地・避難者の状況を踏まえ、同一チームの保健師、管理栄養士が分かれて活動する場合があり得る中、その点に関する内容も記載してはどうか。
 - ・ 避難所における食事提供状況の把握や改善に係る対応が必要な場合は、管理栄養士が食事内容の評価や関係者との調整等を行うため、保健師と分かれて活動することがある。